

保谷公民館

あのワハハ先生と語ろう！
マニッシュタイム
第2弾

第2弾は「いのちと暮らしの話」です。私たちの暮らしは、いろいろな不安、ストレスに満ちていますが、まず、大人同士が気持ちを聞き、語り合うことから始めてみませんか。案内役は、「ワハハ先生」こと山田真さんです。

- ▼とき別表のとおり
- 日曜日 13時30分～15時30分
- ▼ところ 保谷公民館
- ▼対象 市内在住・在勤・在学者
- ▼定員 25人程度
- ▼講師 山田真(八王子中央診療所所長)・ちいさい・お

回	月日	内容
1	2/15	★“情報”とのつきあい方～健康、子育て～“情報”を見極める～
2	3/1	★子どもの体と心と暮らし～必要なこと～食べる、遊ぶ、考える、学ぶ～
3	3/15	★大人同士のネットワーク～子育てのストレスはどこから!?～

おきい・よわい・つよい 編集代表
申込 2月3日(火)10時から
電話で保谷公民館へ

保谷公民館

やぎさわアカデミー
情報発信ゼミ
目指せ！
アナウンサー

明日のアナウンサーを目指します。地域の情報をあなたの声で、実際の番組としてオンエアします。

- ▼とき・ところ 別表のとおり
- ▼対象 概ね18歳以上、35歳未満の情報発信に興味のある方
- ▼定員 10人(申込順)
- ▼講師 大塚まこと(エフエム西東京チーフディレクター)ほか同局スタッフ
- ▼申込 2月3日(火)10時から

回	日時	内容	会場
1	2/19(木) 19時～21時	クラス作り、ラジオ番組の基礎知識、アナウンスの基礎I	保谷公民館
2	2/26(木) 19時～21時	録音・編集の基礎、アナウンスの基礎II	
3	3/5(木) 19時～21時	番組構成案の作成	
4	3/7(土) 10時～18時	取材・編集作業	市内にて
5	3/12(木) 19時～21時	スタジオでの収録、番組の編集	エフエム西東京
6	3/26(木) 19時～21時	地域メディアの可能性について、メディアリテラシーとは	保谷公民館

※予定の日時は、初回の話合いで変更になることもあります。

保谷公民館

似顔絵の教室
まんがが

似顔絵、1コマ、4コマまんがの描き方の基礎を学びます。同好の仲間が見つければ、継続して腕を磨くことも可能かも。作品ができたなら総理大臣に読ませたい！

- ▼とき 別表のとおり
- 月曜日 19時～21時
- ▼ところ 保谷公民館
- ▼対象 市内在住・在勤・在学者
- ▼定員 20人(申込順)
- ▼講師 よねだのぶこ(まんが家)
- ▼申込 2月5日(木)10時から

回	月日	内容
1	3/2	まんがの描き方の手順を知って、似顔絵を描いてみよう
2	3/9	アイデアの考え方と1コマまんが
3	3/16	4コマまんがを描いてみよう!①
4	3/30	4コマまんがを描いてみよう!②

保谷公民館

シニア対象講座
西東京の歴史を歩く(陽春編)

今年の「歩く」は、いつもとちょっと違います。コースガイドは、当講座卒業生の皆さん。相互学習を満喫してください。

- ▼とき・ところ 別表のとおり
- 10時～正午
- ▼対象 概ね60歳以上の市内在住の方
- ▼定員 15人
- ▼参加費 100円(資料代)
- ▼ガイド 道の会(公民館利用サークル)会員、近江喜一(文化財保護審議会委員)
- ▼申込 往復はがきの往信面の裏面に住所、氏名、年齢、電話番号、返信面は申込人のあて先、裏面は白紙で投函。
- はがきのあて先は〒202-10022 西東京市柳沢1-15

回	日時	内容	会場・訪問先
1	3/4(水)	クラス作り、講演「縄文人のくらしと下野谷遺跡」	郷土資料室
2	3/10(火)	歩く・第1回「田無・上保谷のルーツ」	谷戸町、住吉町、泉町
3	3/17(火)	歩く・第2回「日蓮宗下保谷村」	下保谷、北町
4	3/24(火)	歩く・第3回「宿場町田無の盛衰」	田無町

※ 雨天決行

ムービールーム柳沢

ところ 保谷公民館
申込 当日、上映30分前から受付をします。直接視聴覚室までお越し下さい。上映時間前に入場にご協力をお願いします。
定員 100人(先着順)

「用心棒」(1961年公開) 110分
2月18日(水) 14時～
監督：黒澤 明
出演：三船 敏郎・東野 英二郎
山田 五十鈴・仲代 達夫

「蝉しぐれ」(2004年公開) 131分
2月27日(金) 19時～
監督：黒土 三男
出演：市川 染五郎・木村 佳乃
今田 耕司・ふかわ りょう

予告 食の安全講座「食べごと」を考えよう

南部鉄鍋と土鍋を使っての炊飯実習もあります。もちろん、いりこだしのお味噌汁を添えて。
3月7日～3月21日 毎週土曜日 全3回
10時～正午 詳しくは3月号で…

中国古典文学講座

「老子を読む」

現在にも通ずる「老子」をもとにしながら、時代を超えた普遍的な生き方、ものの捉え方を一緒に学んでみませんか。

回	月日	内容
1	2/13	無用と有用、相対の世界…相対を超えるとは
2	2/20	柔弱の思想、柔が剛を制す
3	2/27	道の思想、名なきもの、道のはたらき

- ▼とき 別表のとおり
- 金曜日 14時～16時
- ▼ところ 芝久保公民館
- ▼対象 市内在住・在勤者
- ▼定員 36人(申込順)
- ▼講師 黒岩重人(著述家)
- ▼申込 2月4日(水)9時から

公運審コラム
公民館運営審議会委員として
公運審委員 細井邦夫
西東京市公民館設置及び管理等に関する条例施行規則の第8条には、「審議会は、館長の諮問に応じ、公民館事業の企画実施につき、調査審議する。」とあります。私は、学校関係の関係者ということで公運審委員となり、この審議会に参加しています。

審議会では、館長からの諮問事項の他に、各公民館で行われる事業計画について意見を述べられる機会があります。その際、私は、特に子どもたちが対象となる事業については参加者が少しでも多くなり貴重な体験ができるようにと考えています。そこで、実施時期が学校行事等と重なっていないか、材料費等の費用がかかる事業については負担が重過ぎないか、事故等の危険性はないか等の視点で意見を述べるようにしています。

また、審議会で報告のあった事業の様子を知ること大切と考え、今年の5月から芝久保公民館で開催された「年金講座」全5回に参加しました。そして、市民の方々と公民館職員の方々の様子を実際に学ぶことができました。具体的には、講師との事前の打ち合わせ、実際の講座、反省用紙の配布と回収、それを次回の講座に生かすといったように、講座を運営するにあたっての苦労もよくわかりました。

公民館運営審議会委員として、これからも公民館の運営や事業について、審議会を通して意見を述べ、その責務を果たしていきたいと考えております。